

## ■ 高齢者訪問まとめ

守谷市南部地域包括支援センター

訪問期間:令和6年7月1日(月)～令和7年1月24日(金)

### (1) 高齢者訪問について

- ・訪問後、1か月以内に再訪問が必要と判断したケース(フォローA・フォローB/計 13件)については、早期支援につなげることができた。
- ・昨年度から継続訪問を実施していた対象者については、顔が繋がっていることにより生活状況などの聞き取りがしやすくなっている。
- ・家族との関わりが普段からの希薄な方がみられ、困っていても子どもは頼れない、仕事で忙しいとの理由により、家族以外の第三者や公的な所に頼る傾向がある印象を受けた。

### (2) 訪問内容について

- ・夏期には熱中症予防や、警察署と連携して詐欺被害防止のパンフレットを配布しながら、それぞれのリスクを回避できるように支援した。
- ・事前に記録や支援経過を確認した上で訪問を行った。昨年からの家族構成や生活状況に変化があった方には、本質的な不安や困りごとにアプローチすることを心掛けた。
- ・対象者によっては、介護保険やインフォーマルなサービスの提供を行った。

### (3) 民生委員との連携について

- ・民生委員と同行訪問の件数が年々増加している。同行訪問をすることで、高齢者の受け入れもよく、普段の会話の様子などを見ることができた。また、警戒心を和らげるにつながり、安心して受け答えができていた方もいた。
- ・高齢者に対し、地域住民の身近な相談相手や見守り役として、民生委員について周知することにもつながった。

### (4) 再訪問について

- ・フォローA(至急対応):1件  
独居で認知面とADLの低下が急激に進行している状況で、支援が必要であったため。
- ・フォローB(再訪問1か月以内):12件  
認知機能低下やADLの低下がみられたため
- ・フォローC(再訪問3か月後):12件  
ADLの低下や認知機能低下がみられたが、周囲のサポートがあるため、早急な介入は必要がないが、状況確認が必要なため
- ・フォローD(再訪問6か月程度):4件  
認知機能低下が疑われ、進行すれば日常生活に支障を来すことが懸念されたため

(5) 次年度に向けて

① 高齢者訪問の内容について

前年度と同様に、健康状態の心配事や免許返納後の交通手段等の不安について話を伺うことが多かった。それぞれの地区別の交通手段など高齢者が置かれている生活の環境などにも意識を払いながら、高齢者が抱えている心配事を引き出せるような言葉かけや投げかけを意識しながら訪問していきたい。

過去の記録より、対象者の生活状況や病歴を確認してから訪問したことで、前回の状態からの変化に気づき、再訪問の必要性の判断基準につながった。来年度も継続していきたい。

② 訪問体制について

他職種同士の2人組で訪問を心がけたことで、それぞれの専門性を活かしたアセスメントをすることができ、再訪問の必要性も考えることができた。来年度も、高齢者の支援課題に応じた専門職の組み合わせを検討し、訪問を行うようにしていきたい。

また、今までの訪問記録等から推測される課題について、訪問前から包括内でカンファレンス等を積極的に行い、対応について検討した上で訪問して、最適な支援が行えるようにしたい。

③ その他

今年度新規で訪問した方の中には、訪問者に対し警戒心がみられ、インターフォン越しや居留守のような状態が見られた。昨今の高齢者を狙った犯罪が横行しているため、適切な対応と考えられる。しかしながら、対面での確認ができなかったり、再訪問となってしまうと高齢者の生活状況が確認しづらくなってきている。